

世界旅打ち気分

●第61回・ホーソン競馬場と、廃止場2場

須田鷹雄



写真3) 遠くから写したビューラーパーク競馬場のスタンド



写真2) ホーソンパーク競馬場はカジノ併設の大工事中だった



写真1) アーリントンパーク駅前に残るかつてのゲート

<https://www.instagram.com/sudatatakaoshoten/>

先月に続き、アメリカの競馬場について書きたい。

今回アメリカに行ってきたのは、オーバーランドにあるゴールデンゲート・フィールズ競馬場の閉鎖が決まり、その打ち納めというのがメイン目的だった。ゴールデンゲート

については21年に本連載で触れてるので繰り返さないが、北カリフォルニアのメインといつていい競馬場だ。ベイメドウズ競馬場(08年廃止)に続いて通年開催の競馬場がなくなり、北カリリフォルニアにはいくつかのフェア競馬が残るのみとなってしまった。

そのフェア競馬も150年の歴史を誇ったストックトンが16年に廃止になるなど、少しずつ数は減っている。これはカリフォルニアだけの話ではなく、アメリカの競馬場というのはじりじりとその数を減らしている。日本のようにファンの若返りやネット販売への対応に成功しておらず、一部の華やかな開催を除けば、時代遅れの娯楽になりつつある。グレイハウンド(犬)レースやハイアライ(フロリダやロードアイランド)にあつた球技に賭けるギャンブル)の後を緩やかに追いかけているようにも見え

歴史と現状を察する」ことができ。その意味でいうとホーソーンは「アーリントンパークが無くなつてもいいがあるから大丈夫！」とは思えず、往時は賑わつたのだろうが将来は大丈夫かと心配になる雰囲気があった。

具体的にどこがどうと、客層と場内のムードである。現在ホーソーンではスタンドの2／3ほどをカジノに変える大工事を行つており、競馬のファンエリアが狭いのでガラガラということはない。ただ客層は高齢かつあまり余裕資金がない人々が中心。バーはあるがまともな食べ物を出す店はなく、筆者も安っぽいライスピザを食べるしかなかつた。レース中も明るい歓声が上がるという感じではなく、これでは新規客が来る」ともなかなかないだろうと思われた。

競馬場も手をこまねいでいるわけではなく、カジノ併設より先行して競馬側にスポーツベッティングのエリアを作つてある。自分で操作する端末も何台かあり野球やアメフトに賭けることができるのだがこちらも大賑わいという感じではなかつた。

ホーソーンは150年の歴史で、その意味でいうとホーソーンは「アーリントンパークが無くなつてもいいがあるから大丈夫！」とは思えず、往時は賑わつたのだろうが将来は大丈夫かと心配になる雰囲気があった。

具体的にどこがどうと、客層と場内のムードである。現在ホーソーンではスタンドの2／3ほどをカジノに変える大工事を行つており、競馬のファンエリアが狭いのでガラガラということはない。ただ客層は高齢かつあまり余裕資金がない人々が中心。バーはあるがまともな食べ物を出す店はなく、筆者も安っぽいライスピザを食べるしかなかつた。レース中も明るい歓声が上がるという感じではなく、これでは新規客が来る」ともなかなかないだろうと思われた。

競馬場も手をこまねいでいるわけではなく、カジノ併設より先行して競馬側にスポーツベッティングのエリアを作つてある。自分で操作する端末も何台かあり野球やアメフトに賭けることができるのだがこちらも大賑わいという感じではなかつた。

カジノが完成すると、おそらく来場者は飛躍的に伸びるだろう。カジノの売り上げが競馬を支えてくれるのであれば、競馬場の存続だけはなんとかなりそうだ。ただアメリカのカジノ併設場の中には、「カジノがメイン、競馬場は渋々やるオマケ」となっているところもあり、ホーソーンもそうなつてしまいそうなる。ただ廃止よりは、まだ廃止よりも早いので、粘つてほしいものだ。

最後に、別の州、かつ過去に見た話になつてしまつが、もうひとつ廃止場を紹介しておきたい。オハイオ州のビューラーパーク競馬場である。最終開催が14年5月3日、筆者がグリーンチャンネルの口ヶで立ち寄つたのが6月なので、本当にタッチの差で現役時代を経験できなかつた。

かつてはオハイオの主要場だったようだが、廃止間際には重賞はなく、5万ドルのステークスがいくつある程度。ただ00年前後にはビューラーパークという双子の女性を中継MCとして起用し、全米各地のサイマル会場では認知度が高かつた。筆者は当時よくラスベガスに行っていたので、レースブックで

カジノが完成すると、おそらく来場者は飛躍的に伸びるだろう。カジノの売り上げが競馬を支えてくれるのであれば、競馬場の存続だけはなんとかなりそうだ。ただアメリカのカジノ併設場の中には、「カジノがメイン、競馬場は渋々やるオマケ」となっているところもあり、ホーソーンもそうなつてしまいそうなる。ただ廃止よりは、まだ廃止よりも早いので、粘つてほしいものだ。

最後に、別の州、かつ過去に見た話になつてしまつが、もうひとつ廃止場を紹介しておきたい。オハイオ州のビューラーパーク競馬場である。最終開催が14年5月3日、筆者がグリーンチャンネルの口ヶで立ち寄つたのが6月なので、本当にタッチの差で現役時代を経験できなかつた。

双子の姿を見つけては「これぞ」の競馬場なんだうな」と思いつつ、「ビューラーパーク」という名前だけは覚えていた次第である。

廃止翌月に訪問したのでスタンドなどは残つていて敷地には入った。競馬場の名残といえばパトロール塔を停めて跡地を見ることでできた。

ホーソーンはおおむね3月から8月までサラブレッド開催を行い、9月から12月はハーネス(繫駕速歩)の開催を行つている競馬場だ。G3イリノイダービーが行われる競馬場でもある。

筆者が訪問したのは10月なのでホーソーンはかつナナイターの開催。うまく説明することができないが、海外の競馬場に行くとその歴史を経験していくなくても、なんとなく

リアルタワーと、駅から競馬場に向かう際にファンが通つたゲート(写真1)くらいになつた。そのゲートもフェンスで閉鎖されており、ロードパークが無くなつたわけだ。シカゴ近郊ではもう一箇所、こちらは現役競馬場であるホーソン競馬場も訪れた。

ホーソーンはおおむね3月から8月までサラブレッド開催を行い、9月から12月はハーネス(繫駕速歩)の開催を行つている競馬場だ。G3イリノイダービーが行われる競馬場でもある。

筆者が訪問したのは10月なのでホーソーンはかつナナイターの開催。うまく説明することができないが、海外の競馬場に行くとその歴史を経験していくなくても、なんとなく

今回の旅でも、既に廃止された競馬場の跡地を巡る機会があつた。アーリントンパーク競馬場跡地である。説明の必要がないほどの大競馬場、アーリントンミリオ

ンやビッグアリーダ、ステークスなどの大レースが行われていた競馬場だ。阪神競馬場と姉妹競馬場にもなつており、いまでも阪神にアーリントンカップは残るが、21年9月の開催をもつて閉鎖されてしまつた。

筆者はアーリントンパークが健在の頃に行く機会がなく、それが悔やまれて仕方なかつた。そこで今地だけでも見ておこうと思った次第である。

アーリントンほとどの競馬場でも競馬場の跡地を巡る機会があつた。アーリントンパーク競馬場跡地である。説明の必要がないほどの大競馬場、アーリントンミリオ

ンやビッグアリーダ、ステークスなどの大レースが行われていた競馬場でもだ。阪神競馬場と姉妹競馬場にもなつており、いまでも阪神にアーリントンカップは残るが、21年9月の開催をもつて閉鎖されてしまつた。

筆者はアーリントンほとどの競馬場でも競馬場の跡地を巡る機会があつた。アーリントンパーク競馬場跡地である。説明の必要がないほどの大競馬場、アーリントンミリオ

ンやビッグアリーダ、ステークスなどの大レースが